



\* 11 月の道徳の日 \*  
「尊敬・感謝／愛校心  
／郷土愛」

# 南小だより 11月



あけまちの丘から  
校長だより

教育活動のアンケートのご協力ありがとうございました。結果につきましては、分析し今後の改善策について検討した後、文書でご報告します。その中で、「家庭学習の推進」について不十分であるとのご意見が多くありました。そこで早速「家庭学習のてびき」を見直し、配布しておりますので、活用するようお子様にお声かけください。

子どもたちが社会に出て行くために必要な学力の向上には、ご家庭との連携が欠かせません。目白学園理事長 尾崎春樹 氏によると次の事柄の重要性が提起されています。

- (1) 規則的な生活習慣：毎日朝食を食べる。メディア使用のルールがある。
- (2) 非認知スキル(自制心や意欲、忍耐力など)を高める働きかけ：よいところを褒めて自信を持たせる。努力することや最後までやり抜くことの大切さを伝える。自分と異なる意見や少数意見の良さを生かしたり、折り合いをつけたりする。地域のボランティア活動などに参加するよう促す。
- (3) 知的好奇心の刺激：子どもに本や新聞を読むよう勧める。絵本の読み聞かせをする。外国語や外国の文化に触れるよう意識している。
- (4) しっかりとした家庭学習：計画的な勉強を促す。復習を重視。
- (5) 子どもとの会話が深い(学校・友だち・将来・世の中の出来事など)。学校行事や地域の活動に親子で積極的に参加する。

この中で、(5)の「子どもとの会話が深い」は(1)から(4)を支える前提となります。言語能力は生活や学習などすべての基盤となる力です。本校の子どもたちはとても瑞々しい感性をもっています。それを会話で引き出して味わい、お互いに笑顔になる毎日にしたいですね。

## 11月の生活目標 「思い合う心をもとう 感謝の気持ちを表そう」

思い合う心をもつことは、集団で生活するうえで大切なことです。思い合う心をもっていないままなかなか行動に表せないものです。次のような言葉を知り、感動したので紹介します。

- ・目は人のよいところを見るために使いましょう。
- ・耳は人の言葉を最後まで聞くために使いましょう。
- ・手や足は人を助け世のために使いましょう。
- ・口は人を励まし感謝を言うために使いましょう。

ふれあい集会のテーマ「助け合う全校生の心の輪」を実行に移すよう声をかけていこうと思います。

(生徒指導主事)

## ふれあい集会、人権教育講演会へのご参加ありがとうございました。

ふれあい集会にご参加いただいた保護者の方々の感想を紹介します。「練習の成果を出せたすばらしい内容だった。」「大きな声で堂々と発表していた。」「それぞれの立場の人の気持ちをよく分かって演じていた。」「みんなが歌っている姿に感動した。」「発表が発表で終わらないように、有言実行を。」「緊張のせいか、上級生になるにつれて早口になっていたのが残念だった。」などが寄せられました。子どもたちや教職員の励みになります。ありがとうございました。来年はさらに心に響く取組にしたいと思います。

(人権同和教育主任)